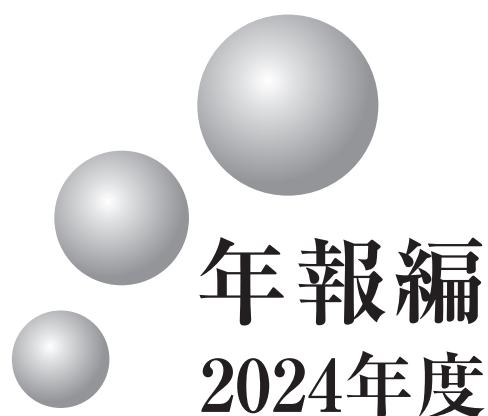


実践女子大学  
香雪記念資料館館報 第22号



Kosetsu Memorial Museum  
Jissen Women's University

**Annual Report**  
2024.4-2025.3



## 目 次

### 年 報 編

---

#### 事業報告

1. 展覧会 .....	1
企画展示室・下田歌子記念室	
2. 教育普及 .....	26
博物館実習生受入	
博物館実習報告	
3. 新収蔵作品 .....	28
4. 所蔵作品貸出 .....	28
5. 『実践女子大学香雪記念資料館館報』の .....	29
編集及び投稿に関する要領	
実践女子大学香雪記念資料館概要 .....	30

### 紀 要 編

---

図版：木下春《桃》当館蔵

木下春の画業と《桃》について .....	31
----------------------	----

実践女子大学香雪記念資料館 学芸員 三國博子

図版：武内小鸞《海棠孔雀図》当館蔵

研究ノート 武内小鸞《海棠孔雀図》 .....	43
-------------------------	----

平塚市美術館 学芸員（元実践女子大学香雪記念資料館事務職員〔学芸事務〕） 鈴木美有





# 事業報告

## 1. 展覧会

### 企画展示室

開催月日	展覧会名	開館日数	入館者数
4/1～5/10 土・日曜日、5/3～7休館	第23回 学祖・下田歌子展 — 下田歌子と清国留学生資料 —	27	428
5/23～6/21 土・日曜日休館 ※ただし6月8日(土・講演会)は、 12:00～17:00開館 6月16日(日)は通常開館。	没後60年 佐藤春夫展 智恵と友情と恋と！	25	528
7/1～8/3 日曜日休館 ※ただし7/21は開館	戦後の女性画家たち — 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 —	31	785
9/9～9/29 土・日曜日休館 ※ただし9/28、29は開館	実践女子大学所蔵 源氏物語・和歌コレクション展 — 文庫(ふみくら)をひらく —	16	1,220
10/5～11/23 日曜日休館 ※ただし10/6は開館	幻影の日本・憧憬の西洋 — 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に —	44	1,376
12/9～2025 1/31 土・日曜日、祝日、12/30～1/3、1/17、 1/24休館	中国美術に親しむ — 原寸大複製画と館蔵品展 —	32	620
		175	4,957

### 下田歌子記念室

開催月日	展覧会名	開館日数	入館者数
4/1～5/10 土・日曜日、5/3～7休館	特集展示 下田歌子のあゆみと芸術へのまなざし	27	428
6/10～8/3 土・日曜日休館 ※ただし6/16(日)、7/6(土)・13 (土)・20(土)・21(日)・27 (土)、8/3(土)は開館	新収蔵品を中心とする女性画家展	47	1,029
9/16～9/29 土・日曜日、祝日休館 ※ただし9/16、28、29は開館	所蔵品による特集展示Ⅰ — 源氏物語と紫式部 —	11	1,118
10/5～11/23 日曜日休館 ※ただし10/6は開館	所蔵品による特集展示Ⅱ — ラグーザ玉関連資料を中心に —	44	1,376
12/9～2025 1/31 土・日曜日、祝日、12/30～1/3、 1/17、1/24休館	所蔵品による特集展示Ⅲ — 近代の文人画を中心に —	32	620
		161	4,571

展覧会名：第23回 学祖・下田歌子展  
— 下田歌子と清国留学生資料

会期：2024年4月1日(月)～5月10日(金)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学香雪記念資料館

後援：渋谷区教育委員会



ポスターデザイン：矢野綾香



展示風景

当館では、実践女子学園の創立者である下田歌子の経歴と業績を顕彰することを目的に、「学祖・下田歌子展」を毎年春に開催している。23回目となる本展では、「下田歌子と清国留学生資料」をテーマに開催した。

下田歌子(1854-1936)は、欧米留学からの帰国後、女性の自立とともに、アジアの連帯と国家の礎としての女子教育の必要性をうったえた。そして、明治38(1905)年に定めた「清国女子速成科規程」をもとに実践女学校に清国留学生部を設置し、次第に充実した体制を整えていく。明治34(1901)年、最初の留学生1名を迎え入ってから辛亥革命までのおよそ10年の間に、清国から100名近くの留学生を受け入れた。

本展では清国留学生に関する資料とともに、歌子の推薦によって清国に派遣された女性教師、河原操子(カラチン)がさらに喀喇沁王の招聘を受け、同地の女子教育に従事したことを示す資料や、現地での学生たちの成績物などもあわせて展示した。

なお、本展の企画および解説は、実践女子大学香雪記念資料館専門委員会・大塚宏昌元委員(実践女子大学図書館 元部長)に基づいている。今回はこれに当館所蔵品から書画3点を加えて構成した。

## 《出品目録》第23回 学祖・下田歌子展 ― 下田歌子と清国留学生資料

### 第1章 実践女学校

〈 〉内番号は実践女子大学図書館『下田歌子データベース』の出納番号に対応しています。

資料名	制作年代	備考	所蔵先
1. <small>しりつじっせんじょがっこうきそくかいせいにんかねがい ふくせい</small> 私立実践女学校規則改正認可願(複製)	明治37(1905)年 7月22日	設立者下田歌子 東京府知事宛 原本は東京都公文書館所蔵 認可願・聴講生及清国女子速成科規定・ 寄宿舎規則ほか	実践女子大学図書館〈1887〉
2. <small>しりつじっせんじょしがっこうぶんこうきょうじょうせつちねがい ふくせい</small> 私立実践女子学校分校教場設置願(複製)	明治38(1905)年 7月23日	設立者下田歌子 東京府知事宛 原本は東京都公文書館所蔵	実践女子大学図書館〈1888〉
3. <small>しんこくりゅうがくせいきしゅくしやおとびきょうしつかいしゅうこうじしやうしよ</small> 清国留学生寄宿舎及教室改修工事仕様書	明治40(1907)年頃	付:平面図(縮尺 1/100)	実践女子大学図書館〈1131〉
4. <small>しなりゅうがくせいばんきょうじょうにっし</small> 支那留学生分教場日誌	昭和18(1943)年	伝記編纂用 実践女学校原稿用紙 原本:明治 38年(1905)7月17日～11月7日	実践女子大学図書館〈0750〉
5. <small>しんこくりゅうがくせいしやしん ふくせい</small> 清国留学生写真(複製)	明治38(1905)年	原本は成田安清氏所蔵 留学生部舎監坂寄美都子・松元晴子と 写真 5枚	実践女子大学図書館〈1132〉
6. <small>しんこくりゅうがくせいしやしん ふくせい</small> 清国留学生写真(複製)	明治39(1906)年	原本は本学図書館所蔵 留学生部舎監坂寄美都子・松元晴子と 留学生2名	実践女子大学図書館〈1869〉
7. <small>しんこくかんびりゅうがくくせいがいしゅうさいけいやくしよ</small> 清国官費留学生学資一切契約書	明治40(1907)年 5月11日	実践女学校副校長青木文造・ 奉天省学務議紳載裕忱 署名 1通(美濃判罫紙 2枚)	実践女子大学図書館〈1130〉
8. <small>そつぎょうしやうしよむいぢやう しんこくりゅうがくせいふ ふくしや</small> 卒業証書台帳 清国留学生部(複写)	明治37～44(1904-11)年	原本は本学学務部所蔵	実践女子大学図書館〈3203〉
9. <small>しやうきんしやうぞうしやしん ふくせい</small> 秋瑾肖像写真(複製)		2枚 原本は秋瑾記念館(中国浙江省紹興)所蔵	実践女子大学図書館〈4676〉
10. <small>はっこうし ふ</small> 白香詞譜	光緒16(1890)年	舒夢蘭白香甫撰 写本 1冊(32丁) 各行に朱印平仄	実践女子大学図書館〈0932〉

### 第2章 清国に女子教師を推薦・派遣

11. <small>はっとりしげこしよかん しもだうたこあて</small> 服部繁子書簡 下田歌子宛	明治38(1905)4月2日	北京より	実践女子大学図書館〈2097〉
12. <small>しもだうたこしよかん なり た きむら よしこあて</small> 下田歌子書簡 成田(木村)芳子宛	明治42(1909)11月29日	実践女学校創立十周年記念絵葉書	実践女子大学図書館〈1882〉
13. <small>きむら なり た よしこ しやうぞうしやしん ふくせい</small> 木村(成田)芳子肖像写真(複製)	明治40(1907)年頃	原本は本学図書館所蔵	実践女子大学図書館〈3268〉
14. <small>わいくじやがくどうせいとせいせきぶつ</small> 和育女学堂生徒成績物	明治43(1910)年頃	墨、鉛筆・紙 3綴、7枚	実践女子大学図書館〈1134〉
15. <small>しゅくしんのうけわいくじやがくどうこうちやうきやうしやうしやうがくせい ふくせい</small> 肅親王家和育女学堂校長教師交友学生(複製)	明治41(1908)年 夏	原本は成田芳子遺児の成田安清氏所蔵	実践女子大学図書館〈1133〉
16. <small>しゅくしんのうせいひふーちんしやうぞう ふくせい</small> 肅親王正妃福晋肖像(複製)	明治40(1907)年	原本は堀句子氏所蔵	実践女子大学図書館〈3269〉
17. <small>からちんおうひ なりたよしこ ふくせい</small> 喀喇沁王妃と成田芳子(複製)	明治39(1906)年	原本は本学図書館所蔵	実践女子大学図書館〈4483〉
18. <small>しゅくしんのうしよせき</small> 肅親王書蹟	明治30年代(1897-1906)	下田先生法正 書幅	実践女子大学図書館〈2638〉
19. <small>からちんおうしよせき</small> 喀喇沁王書蹟	明治40(1097)年頃	下田先生法正 書幅	実践女子大学図書館〈2726〉

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・頁数・寸法	所蔵先
<small>こうちやうでんけい</small> 絳帳傳經	<small>りせいたく</small> 李盛鐸 (1859-1937)	19世紀後半 ～20世紀初期	款記「下田女師正書 盛鐸」 印章「李盛鐸印」白文方印 「木斎」朱文方印	純本墨書・1面 31.8×119.5cm	実践女子大学図書館〈2752〉
<small>かちやうず あんわず</small> 花鳥図(安和図)	<small>びゅうそん</small> 繆素筠 (1841-1918)	清 光緒29年 (1903)	款記「撫南田翁筆法時在癸卯 秋七月上澣 滇南女史 繆素筠寫於京師」 印章「素」筠」白朱文連印	絹本着色・1幅 105.1×40.6cm	実践女子大学香雪記念資料館
<small>ちゅうごくれきだいしじよずかん</small> 中国歴代仕女図巻	作者不明	19世紀後半 ～20世紀初期		紙本着色・1巻 26.0×514.6cm	実践女子大学香雪記念資料館



展覧会名：没後60年 佐藤春夫展  
智恵と友情と恋と！

会期：2024年5月23日(木)～6月21日(金)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学文芸資料研究所

共催：公益財団法人佐藤春夫記念会

協力：実践女子大学香雪記念資料館



ポスター



展示風景

本学では、作家・佐藤春夫（1892-1964）の没後50周年となる2014年より、関係者の深いご理解とご協力のもと、佐藤家に遺された資料の整理および調査を進めてきた。2022年8月には、新宮市立佐藤春夫記念館との間で包括連携協定が締結され、資料調査やその公開・活用が促進されていくこととなった。佐藤春夫の没後60年を迎える2024年は連携協定の一環として「没後60年 佐藤春夫展 智恵と友情と恋と!」と題し、春夫の生涯を作品の様々な名言や、2023年に春夫のご遺族より新宮市立佐藤春夫記念館に寄贈された新資料から振り返る企画展を行った。展覧会名に付した「智恵と友情と恋と」は、春夫の文章に引用されたハイネの訳詩の一節で、友人と恋人を同時に失った春夫が、失意の底で自らの思いを託した言葉でもある。春夫は親友・谷崎潤一郎との絶交、和解を経て、10年越しの恋を实らせるかたちで潤一郎の妻であった千代を家族に迎えた。世間の様々な誤解にさらされながらも困難を乗り越えた春夫と家族の姿、そして近代作家中随一の人脈を誇り、多くの友人を持っていた春夫の多彩な交流を、書簡を中心とした資料の展示によって紹介した。会期中の6月8日(土)には、関連イベントとして本学国文学科と文芸資料研究所の協力のもと、公開講座「講演会：春夫文学の新たな沃野」を開催した。

《出品目録》実践女子大学文芸資料研究所・財団法人佐藤春夫記念会共催  
没後60年 佐藤春夫展 智恵と友情と恋と！

No.	タイトル	作者	年代	所蔵者
I- 1.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1911年4月16日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
I- 2.	同時代私議	佐藤春夫	1912年10月執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
I- 3.	懷疑者と歴史(未発表)	佐藤春夫	1913年4月執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
I- 4.	病める薔薇	佐藤春夫	1918年11月 天佑社刊	個人蔵
I- 5.	田園の憂鬱	佐藤春夫	1919年6月 新潮社刊	個人蔵
II- 1.	佐藤豊太郎宛葉書	佐藤春夫	1920年6月27日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
II- 2.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1920年10月20日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
II- 3.	南方紀行	佐藤春夫	1922年4月 新潮社刊	個人蔵
II- 4.	月明(南方紀行草稿)	佐藤春夫	1921年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
II- 5.	五娘送寒衣歌	歌仔冊(民間歌謡本)	1910年代 厦門会文堂書局	実践女子大学寄託(個人蔵)
II- 6.	五娘跳古井歌	歌仔冊(民間歌謡本)	1910年代 厦門会文堂書局	実践女子大学寄託(個人蔵)
II- 7.	蝗の大旅行	佐藤春夫	『童話』1921年9月号	個人蔵
II- 8.	蝗の大旅行	佐藤春夫	1926年9月 改造社刊	個人蔵
II- 9.	蝗の大旅行	佐藤春夫	1921年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
II-10.	女誠扇綺譚	佐藤春夫	1926年2月 第一書房刊	個人蔵
II-11.	霧社(限定版)	佐藤春夫	1936年7月 昭森社刊	個人蔵
III- 1.	佐藤春夫宛書簡	谷崎潤一郎	1921年6月6日付	実践女子大学図書館蔵
III- 2.	殉情詩集	佐藤春夫	1921年7月 新潮社刊	個人蔵
III- 3.	我が一九二二年	佐藤春夫	1923年2月 新潮社刊	個人蔵
III- 4.	その日暮しをする人(表紙案)	佐藤春夫	1922年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
III- 5.	その日暮しをする人	佐藤春夫	1922年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
III- 6.	剪られた花	佐藤春夫	1922年8月 新潮社刊	個人蔵
III- 7.	「剪られた花」の一節	佐藤春夫	1922年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
III- 8.	酔っぱらひ歌	佐藤春夫	1922年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
III- 9.	幽霊	佐藤春夫	1922年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
III-10.	薔薇と真珠(草稿と落書き)	佐藤春夫	1921年執筆	実践女子大学寄託(個人蔵)
IV- 1.	勿忘草	佐藤春夫・谷崎潤一郎	1930年7月	個人蔵
IV- 2.	結婚挨拶状	谷崎潤一郎・佐藤春夫	1930年8月	個人蔵
IV- 3.	披露宴招待状	佐藤春夫	1931年5月	個人蔵
IV- 4.	佐藤春夫に与へて過去半生を語る書	谷崎潤一郎	『中央公論』1931年11月号掲載	実践女子大学図書館蔵
IV- 5.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1930年8月10日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
IV- 6.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1930年8月21日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
IV- 7.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1930年9月4日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
IV- 8.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫・千代	1930年9月27日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵

No.	タイトル	作者	年代	所蔵者
Ⅳ－9.	佐藤千代宛書簡	佐藤豊太郎	1930年9月27日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅳ－10.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫・千代	1930年9月29日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
Ⅳ－11.	佐藤春夫宛書簡	佐藤豊太郎	1930年10月6日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅳ－12.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫・千代	1930年10月6日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
Ⅳ－13.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1930年10月17日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
Ⅳ－14.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫・千代	1930年10月22日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
Ⅳ－15.	佐藤春夫宛書簡	佐藤豊太郎	1930年10月25日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅳ－16.	佐藤春夫宛書簡	佐藤豊太郎	1930年11月7日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅳ－17.	佐藤豊太郎宛書簡	佐藤春夫	1930年11月16日付	新宮市立佐藤春夫記念館蔵
Ⅳ－18.	閑談半日	佐藤春夫	1934年7月 白水社刊	個人蔵
Ⅳ－19.	初昔 きのふけふ	谷崎潤一郎	1943年4月 創元社刊	個人蔵
Ⅴ－ 1.	佐藤春夫宛書簡	生田長江	1918年1月21日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅴ－ 2.	佐藤春夫宛書簡	与謝野寛(鉄幹)	1919年2月6日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅴ－ 3.	佐藤春夫宛書簡	与謝野寛(鉄幹)	1921年9月12日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅴ－ 4.	佐藤春夫宛書簡	与謝野寛・晶子	1921年12月19日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅵ－ 1.	佐藤春夫宛書簡	鈴木三重吉	1918年9月20日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅵ－ 2.	佐藤春夫宛書簡	菊池寛	1919年7月3日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅵ－ 3.	佐藤春夫宛書簡	北原白秋	1919年7月2日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅵ－ 4.	佐藤春夫宛書簡	宇野浩二	1921年7月17日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅵ－ 5.	佐藤春夫宛書簡	室生犀星	1928年7月8日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅶ－ 1.	佐藤春夫宛書簡	芥川龍之介	1917年4月17日付	実践女子大学図書館蔵
Ⅶ－ 2.	佐藤春夫宛書簡	芥川龍之介	1918年1月1日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅶ－ 3.	佐藤春夫宛書簡	芥川龍之介	1919年1月10日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅶ－ 4.	佐藤春夫宛書簡	芥川龍之介	1925年5月17日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅶ－ 5.	佐藤春夫宛書簡	芥川龍之介	1926年11月9日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅶ－ 6.	梅・馬・鶯	芥川龍之介(佐藤春夫装)	1926年12月 新潮社刊	個人蔵
Ⅷ－ 1.	佐藤方哉宛書簡	谷中安規	1942年8月4日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 2.	佐藤方哉宛書簡	谷中安規	1943年	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 3.	佐藤方哉宛書簡	谷中安規	1943年	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 4.	佐藤方哉宛書簡	谷中安規	1946年3月18日受取	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 5.	女の顔	谷中安規	1931年制作	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 6.	刀を振るう獣人	谷中安規	1931年制作	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 7.	実験室	谷中安規	1931年制作	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 8.	葬送	谷中安規	1931年制作	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅷ－ 9.	正夫君の見た夢	佐藤春夫	1943年2月 帝国教育会出版部刊	個人蔵
Ⅷ－10.	環境	佐藤春夫	1943年5月 実業之日本社刊	個人蔵

No.	タイトル	作者	年代	所蔵者
Ⅹー 1.	佐藤春夫宛書簡	太宰治	1935年6月5日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 2.	佐藤春夫宛書簡	太宰治	1936年1月28日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 3.	佐藤春夫宛書簡	太宰治	1936年2月5日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 4.	佐藤春夫宛書簡	太宰治	1936年7月27日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 5.	佐藤春夫宛書簡	太宰治	1936年10月7日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 6.	佐藤春夫宛書簡	井伏鱒二	1936年10月14日付	実践女子大学寄託(個人蔵)
Ⅹー 7.	佐藤春夫宛書簡	井伏鱒二	1936年10月23日付	実践女子大学寄託(個人蔵)

## パネル写真解説

No.	パネルタイトル	年代	解説	* (記)は新宮市立佐藤春夫記念館提供
1.	若き日の春夫	1909年冬	新宮中学5年当時。反逆児として名を馳せた。(記)	
2.	自画像(眼鏡のない)	1915年	二科展入選作。文学を諦め画家を目指した頃。『殉情詩集』より。	
3.	新宮中学同級生と	1909年	新宮の神倉神社石段にて。東熙市の姿も見える。(記)	
4.	東熙市の一家	1930年代	失意の春夫を台湾に招き窮地を救った。東哲一郎氏提供。	
5.	台湾地方自治創始記念絵葉書	1920年10月1日記念印	台湾同化のため地名の日本化が断行されるさなかの旅だった。	
6.	台湾旅行中の春夫	1920年	前列右から2人目。唯一残る台湾旅行中の写真。森丑之助撮影。	
7.	正装した春夫	1920年2月	台湾旅行前に新宮で撮影。数え29歳当時の姿。(記)	
8.	娘時代の千代	1911年	前橋時代の芸者姿。春夫に贈られた写真。竹田長男氏提供。	
9.	写真裏に書かれた詩	1921年	会えない千代を偲んで春夫が写真の台紙に書いた詩。	
10.	淡月梨花の歌	1926年	写真の千代を梨の花に喩え、悲恋の抒情を詠いあげた。	
11.	秋刀魚の歌	1921年	小田原に散った恋を秋刀魚で偲ぶ。もっとも著名な春夫の詩。	
12.	小石川関口町の新居(1927年竣工)	1980年代撮影	谷崎夫妻と絶交後、タミと住んだ家。現在は新宮に移築。(記)	
13.	新居の居間	1930年代撮影	戦前・戦後を通じて青年たちが集まる芸術サロンであった。(記)	
14.	八角塔の部屋	1930年代撮影	狭い場所での執筆を好んだ春夫。八角塔は新居のシンボル。(記)	
15.	春夫・タミ・みよ子	1927年頃	タミが春夫との不和を潤一郎夫妻に相談。旧交が復活する。(記)	
16.	谷崎潤一郎と並んで	1930年8月	赤嶋温泉にて。春夫両親に挨拶に来た潤一郎。『閑談半日』より。	
17.	病春安臥太平之図	1930年9月27日付書簡	千代との結婚後、春夫は軽い脳溢血を病んだ。	
18.	ココモウゴキマス	1930年9月29日付書簡	書きにくい文字のかわりに絵で病状報告。	
19.	故園秋杯之図	1930年10月17日付書簡	療養中はかなり食欲旺盛。千代の料理の腕にも感心していた。	
20.	日々是好日	1930年10月23日付書簡	悠々自適の前向きな姿勢を貫く。万葉集に親しむ。	
21.	病人歩行ヲ試ム五六歩	1930年10月17日付書簡	リハビリに励む春夫の姿。徐々に回復の兆しが見えてきた。	
22.	大キナ小供飛行機見物之図	1930年10月23日付書簡	千代の懸命な看護は、佐藤家の人々に強い感銘を与えた。	
23.	方哉(まさや)の誕生	1932年	鮎子・千代・方哉・春夫。小石川の自宅にて。(記)	
24.	豊太郎・政代を囲んで	1937年	懸泉堂にて春夫・千代・方哉。姪の一家と姉。高橋百百子氏提供。	
25.	信州佐久に疎開中の一家	1947年	方哉、龍児(春夫甥)、長男、春夫、鮎子、百百子。(記)	
26.	春夫と長男(ながを)	1950年頃	疎開先で生まれた初孫。春夫が子守唄を歌った。(記)	
27.	春夫の愛した孫たち	1950年頃	竹田百百子、有多子、長男。春夫宅によく遊びにきた。(記)	
28.	晩年の春夫と千代	1962年	自宅でくつろぐ夫妻のカラー写真。有賀長敏撮影。(記)	



## 展覧会名：戦後の女性画家たち

— 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 —

会期：2024年7月1日(月)～8月3日(土)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学香雪記念資料館

後援：渋谷区教育委員会

広報媒体の記録：Bunkamura 渋谷アート 7月4日「【展覧会情報】実践女子大学香雪記念資料館『戦後の女性画家たち — 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 — 』」

『東京新聞』 7月5日夕刊3面 小田原のどか「美術評「戦後の女性画家たち」展」

WEB版「美術手帖」 7月12日「EXHIBITIONS「戦後の女性画家たち — 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 — 』」

Tokyo Art Beat 「戦後の女性画家たち — 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 — 」



ポスターデザイン：矢野綾香



展示風景

本展では過去にご寄贈いただいていた有馬さとえ（1893-1978）、朝倉摂（1922-2014）作品に、本年ご寄贈いただいた小林喜巳子（1929-2023）、招瑞娟（ZHAO Ruijuan 1924-2020）、新規購入した毛利眞美（1926-2022）作品を加え、5人の女性作家による油彩画、日本画、版画を展示した。

有馬さとえは岡田三郎助の指導を受けた官展の作家で、帝展洋画部門で女性初の特選を受賞し、戦後も日展に出品を続けた。舞台美術家として知られる朝倉摂は、伊東深水の画塾で日本画を学び、戦後は佐藤忠良らと炭鉱や漁村に写生旅行をおこなって労働者を描いた。毛利眞美は1950年に単身渡仏し、アンドレ・ロートの画塾での学習を経て、帰国後は幾何学的な構成による女性像を発表した。その後忘れられていたが、没後の展示により再び注目を浴びている。また小林喜巳子、招瑞娟は、1946年に東京美術学校が女性の入学を認めた一期生で、安井曾太郎の教室に学んだ後、戦後日本で展開した民衆版画運動のなかで2人とも木版画家として活動した。神戸の華僑の家庭に生まれた招はもとより、5人それぞれ異なる環境のなかで制作者としての自意識を強く持ち、現代社会に向き合う作品を残したことを検証した。改めてご寄贈者の方々に感謝申し上げる。



## 《出品目録》戦後の女性画家たち

— 有馬さとえ・朝倉摂・毛利眞美・小林喜巳子・招瑞娟 —

作者名(生没年)	作品名	制作年代	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. 有馬さとえ(1893-1978)	五月の窓	昭和21(1946)年	油彩・キャンバス 91.0×117.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
2. 有馬さとえ(1893-1978)	題名不詳 (チャイナドレスの女性)	昭和25(1950)年頃	油彩・キャンバス 130.5×97.3cm	実践女子大学 香雪記念資料館
3. 朝倉摂(1922-2014)	日雇の母	昭和28(1953)年	紙本着色 65.0×80.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
4. 朝倉摂(1922-2014)	部屋	昭和32(1957)年	布・着色 89.5×149.9cm	実践女子大学 香雪記念資料館
5. 毛利眞美(1926-2022)	題名不詳	昭和28(1953)年頃	油彩・キャンバス 60.7×40.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館
6. 毛利眞美(1926-2022)	自画像	昭和29(1954)年	油彩・キャンバス 60.3×45.6cm	実践女子大学 香雪記念資料館
7. 小林喜巳子(1929-2023)	晴日睡蓮	昭和21(1946)年	油彩・キャンバス 32.1×41.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
8. 小林喜巳子(1929-2023)	題名不詳(《自画像》)	20世紀	油彩・キャンバス 61.2×50.7cm	実践女子大学 香雪記念資料館
9. 小林喜巳子(1929-2023)	題名不詳(《貝を剥く人》)	20世紀	油彩・キャンバス 80.8×53.7	実践女子大学 香雪記念資料館
10. 小林喜巳子(1929-2023)	町工場にて	昭和32(1957)年	油彩・キャンバス 97.0×130.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
11. 小林喜巳子(1929-2023)	Kの家族	20世紀	油彩・キャンバス 116.7×91.1cm	実践女子大学 香雪記念資料館
12. 小林喜巳子(1929-2023)	一日本人の生命	昭和29(1954)年	木版・紙 54.0×63.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
13. 小林喜巳子(1929-2023)	大くら市の日	昭和47(1972)年	木版多色刷・紙 63.6×84.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
14. 小林喜巳子(1929-2023)	ぼんおどり	昭和47(1972)年	木版多色刷・紙 63.6×85.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
15. 小林喜巳子(1929-2023)	アトリエにて	昭和62(1987)年	木版多色刷・紙 44.9×64.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
16. 招瑞娟(1924-2020)	石炭かつぎ	昭和31(1956)年	紙・木版二色刷 39.8×46.3cm	実践女子大学 香雪記念資料館
17. 招瑞娟(1924-2020)	麻袋を繕う老婦	昭和32(1957)年	紙・木版三色刷 65.9×46.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館
18. 招瑞娟(1924-2020)	老婦(デッサン)	昭和34(1959)年頃	紙本墨画 49.0×35.7cm	実践女子大学 香雪記念資料館
19. 招瑞娟(1924-2020)	老婦	昭和34(1959)年	紙・木版二色刷 62.3×47.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
20. 招瑞娟(1924-2020)	呐喊	昭和34(1959)年	紙・木版単色刷 63.0×46.9cm	実践女子大学 香雪記念資料館
21. 招瑞娟(1924-2020)	鳩と少女(孤独)	昭和39(1964)年	紙・木版単色刷 63.1×46.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館
22. 招瑞娟(1924-2020)	海辺の少女	昭和49(1974)年	紙・木版単色刷 70.9×50.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
23. 招瑞娟(1924-2020)	小憩(Ⅱ)	昭和50(1975)年	紙・木版単色刷 63.4×49.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
24. 招瑞娟(1924-2020)	シャボン玉の中の私	昭和51(1976)年	紙・木版単色刷 46.5×63.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
25. 招瑞娟(1924-2020)	穀屑(Ⅰ)	昭和56(1981)年	紙・木版単色刷 45.8×63.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
26. 招瑞娟(1924-2020)	環境汚染	平成2(1990)年	紙・木版単色刷 63.4×74.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館

展覧会名：実践女子大学所蔵 源氏物語・和歌コレクション展  
文庫をひらく

会期：2024年9月9日(月)～9月29日(日)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学文学部国文学科

共催：実践女子大学図書館・実践女子大学文芸資料研究所

協力：実践女子大学香雪記念資料館

広報協力：株式会社勉誠社

広報媒体の記録：Bunkamura 渋谷アート 9月6日「【展覧会情報】実践女子大学香雪記念資料館『実践女子大学所蔵 源氏物語・和歌コレクション展 文庫(ふみくら)をひらく』」



ポスター



展示風景

『源氏物語』は、紫式部が書いた最古の長編物語として世界中で支持をされている文学作品である。実践女子大学は、学祖下田歌子による源氏研究以降、絶えることなく『源氏物語』を研究し、古典籍を収集調査してきた。同時に、『源氏物語』を読むうえで欠くことのできない〈和歌〉に関わる古典籍の研究と収集にも努めてきた。こうした背景をふまえ、紫式部や『源氏物語』への関心が高まっているいま、貴重古典籍を所蔵する機関の責務として、本学の各文庫を改めてひらき、重要文化財を含む著名な写本のほか、学術的価値を有する古典籍の展観を目的とした企画展を開催した。展示資料として、数多くある『源氏物語』写本のバリエーションのうち、鎌倉時代末期頃に書写された、すなわち七百年ほど前に書写されたものを含む七種類の『源氏物語』の写本を用いて、それぞれの筆跡や料紙といった作品の外側にあるものの違いにも注目し展示を行った。配布資料として一般来場者向けの展示品解説と研究者向けの展示品解題の二種のパンフレットを作成し、好評を博した。9月16日のオープンキャンパス時には公開講座「源氏物語・和歌の世界にふれてみよう」を開催するとともに、展示室にてギャラリートークも行い、多くの参加者のご来場を得た。

# 《出品目録》実践女子大学所蔵 源氏物語・和歌コレクション展 ― 文庫をひらく ―

- ・資料名は国書データベースの統一書名に準じています。仮資料名は〔 〕で示しています。
- ・所蔵先の略称は以下の通りです。  
山岸：山岸文庫、常磐松：常磐松文庫、文芸：文芸資料研究所
- ・末尾の記号（○）は本学初公開資料を示しています。

## 第一章 『源氏物語』の写本たち ― 多様な筆跡、多様な本文 ―

資料名	書写者・伝称筆者	装丁・法量	点数	書写年代	所蔵先
1. 源氏物語切 桐壺巻	伝 冷泉為相筆	六半切	軸装(一幅)	鎌倉時代末期～南北朝	国文学科 ○
2. 源氏物語 末摘花巻	伝 二条為定筆	列帖装・枳形本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	常磐松
3. 源氏物語 須磨巻	伝 冷泉為相筆	列帖装・枳形本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	常磐松 ○
4. 源氏物語 早蕨巻・宿木巻	伝 冷泉為相筆	列帖装・四半本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	山岸
5. 源氏物語切 宿木巻(塙正切)	伝 西行筆	六半切(二葉)	軸装(一幅)	鎌倉時代末期～南北朝	文芸
6. 源氏物語〔明融本〕	明融ほか寄合書	列帖装・四半本	四十四帖	室町時代末期	山岸
7. 源氏物語〔耕雲本〕	甘露寺親長 (及び補写)	列帖装・四半本	五十四帖	文明年間	山岸

## 第二章 『源氏物語』を注釈した書物たち

8. 源氏物語系図	伝 三条西実枝筆	折本・枳形本	一帖	天文十三(1544)年	常磐松
9. 〔源氏小鏡〕		列帖装・四半本	一帖	室町時代後期	文芸
10. 賞勝院抄 *三条西家旧蔵		袋綴・四半本	二十五冊	江戸時代中期	文芸
11. 〔九条家本源氏物語聞書〕 *九条家旧蔵		袋綴・四半本	五冊	江戸時代前期	常磐松

## 第三章 『源氏物語』の和歌

12. 源氏物語カルタ			五十四組	江戸時代	文芸
13. 源氏物語和歌集切	伝 二条為氏筆 (伝九条良経筆)	横小本切	一葉	鎌倉時代初期	文芸

## 第四章 紫式部の和歌

14. 紫式部集	猪苗代長珊カ	列帖装・四半本	一帖	(1556年)	常磐松
(参考)百人一首		列帖装・四半本	一帖	江戸時代後期	個人蔵

## 第五章 和歌の規範 ― 勅撰和歌集 ―

15. 古今和歌集	伝 一条冬良筆	列帖装・四半本	二帖	室町時代後期	文芸
16. 八代集 *H.S.チェンバレン旧蔵		列帖装・中本	八帖	江戸時代中期	山岸 ○
17. 後撰和歌集切	伝 寂蓮筆	四半切	軸装(一幅)	鎌倉時代初期	文芸 ○
18. 後撰和歌集切	伝 藤原清輔筆	四半切	一葉	鎌倉時代初期	個人蔵 ○
19. 後撰和歌集切 紹巴切	藤原定家	四半切	軸装(一幅)	鎌倉時代初期	文芸

## 第六章 勅撰和歌集をうつす元陰陽師、寂恵

資料名	書写者・伝称筆者	装丁・法量	点数	書写年代	所蔵先
20. 拾遺和歌集(上帖) ●重要文化財	寂恵(及び右筆)	列帖装・四半本	一帖	鎌倉時代中～後期	山岸
21. 拾遺和歌集切	伝 寂恵筆	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
22. 古今和歌集切 石見切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
23. 古今和歌集切 石見切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
24. 古今和歌集切 石見切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
25. 古今和歌集切 石見切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
26. 古今和歌集切 石見切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
27. 後撰和歌集切	寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
28. 後撰和歌集切	伝 寂恵筆	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○

## 第七章 さまざまな和歌集 ― 私家集、百人一首、歌合 ―

29. 斎宮女御集切	伝 藤原公任筆	四半切	軸装(一幅)	平安時代後期カ	文芸
30. 顕輔集(左京大夫集)	伝 空性法親王筆	列帖装・四半本	一帖	江戸時代初期	山岸
31. 再昌 *三条西家旧蔵	伝 霊元天皇筆	袋綴・四半本	一冊	江戸時代中期	山岸 ○
32. 百人一首・三十六人歌合	冷泉為清	列帖装・四半本	一帖	寛文二年(1662)	常磐松 ○
33. 清輔家歌合 永暦元年七月		袋綴・四半本	一冊	江戸時代前期	山岸 ○
34. 月卿雲客妬歌合 *阿波国文庫旧蔵		袋綴・四半本	一冊	江戸時代前期	山岸 ○
35. 〔歌合集〕 *九条家旧蔵		袋綴・四半本	十三冊	江戸時代初期	山岸 ○

## 第八章 和歌を注釈した書物たち

36. 万葉集長歌短歌説		袋綴・四半本	一冊	寛文四年(1664)	山岸 ○
37. 万葉抄(宗祇抄)		袋綴・四半本	一冊	江戸時代中期	山岸 ○
38. 顕注蜜勘(巻十一～二十) *九条家旧蔵		袋綴・四半本	二冊	寛永六年(1629)	山岸 ○
39. 〔古今和歌集聞書〕 *九条家旧蔵		袋綴・四半本	五冊	寛文四年(1664)	山岸
40. 〔古今和歌集注〕	伝 素眼筆	卷子装(改装)	二軸	室町時代前期	山岸 ○

## 第九章 和歌や物語をあつめる ― 古筆手鑑 ―

41. 古筆手鑑		折帖	一帖	奈良～江戸時代	文芸 ○
----------	--	----	----	---------	------



展覧会名：幻影の日本・憧憬の西洋  
— 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に

会期：2024年10月5日(土)～11月23日(土)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学香雪記念資料館

後援：渋谷区教育委員会

広報媒体の記録：大学ジャーナルオンライン 9月27日「実践女子大学香雪記念資料館 「幻影の日本・憧憬の西洋 — 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に」展開催 10月5日から」

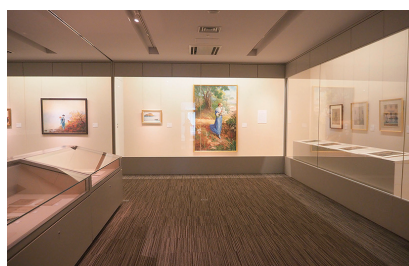
Bunkamura 渋谷アート 10月2日「【展覧会情報】実践女子大学香雪記念資料館『幻影の日本・憧憬の西洋 — 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に』」

WEB版「美術手帖」10月28日「EXHIBITIONS 「幻影の日本・憧憬の西洋 — 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に」」

Tokyo Art Beat 「幻影の日本・憧憬の西洋 — 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に」



ポスターデザイン：矢野綾香



展示風景

本展は、清原玉(1861-1939、エレオノーラ・ラグーザ)とアメリカ人の版画家ヘレン・ハイド(1868-1919)の作品を中心に、明治初期から洋画を学んだ日本人女性たちの作品、海外から日本に来て木版画を日本で制作した女性たちの作品、約40点によって構成した。工部美術学校の女生徒たちによる学習画(個人蔵)、渡辺幽香による油彩《人物》(東京芸術大学蔵)、清原玉による《古器物写生》(東京国立博物館蔵)はいずれも展示される機会が少ないものであり、これらにより明治初期に日本の女性たちが新しく触れた西洋画に憧れ、西洋画の修得を通して西洋の人物や風景の見方を学んだ様子を示した。一方でヘレン・ハイドら欧米から日本に来た女性版画家たちは日本の風俗や木版画に異国への憧れを持って制作した。またイタリアでのラグーザ玉は日本から西洋、西洋から日本へのまなざしの双方を持った作品を制作した。このように本展は異文化との間で互いに交錯するまなざしについて考えることを意図した。なお当館のラグーザ玉作品、資料などは畑正吉旧蔵品をご遺族から以前ご寄贈いただいたものであり、本展に併せて下田歌子記念室にもラグーザ玉関連資料を展示した。

## 《出品目録》幻影の日本・憧憬の西洋 ― 清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に

### 第1章 いち早く西洋画を学んだ女性たち

英文題名は本人の記載に基づく。不明の場合は記さない。

作品名	作家名(生没年)など	制作年代	技法・形質・寸法	所蔵先
1. (遠近法) 第一図	秋尾園 (1863-1929)	明治10(1877)年9月	インク・紙 18.8×29.6cm	個人蔵
2. 飾画 第三十図、第三十一図	秋尾園 (1863-1929)	明治10(1877)年 10月12日	インク・油性絵具 による着彩・紙 29.6×18.6cm	個人蔵
3. 工部美術学校女生徒 1	秋尾園 (1863-1929)	明治13(1880)年	鉛筆・紙 29.7×23.0cm	個人蔵
4. 工部美術学校女生徒 2	秋尾園 (1863-1929)	明治13(1880)年	鉛筆・紙 20.0×26.5cm	個人蔵
5. 工部美術学校女生徒 戯画	秋尾園 (1863-1929)	明治13(1880)年	鉛筆・紙 18.0×53.0cm	個人蔵
6. 風景	秋尾園 (1863-1929)	明治時代	水彩・紙 14.5×19.2cm	個人蔵
7. 石柱台座投影図	大鳥雛 (1861-1923)	明治11(1878)年頃	インク・墨・紙 28.0×22.5cm	個人蔵
8. 孝子安寿姫弟津志王丸ト訣別之図	岡村政子 (1857-1936)	明治22(1889)年 9月10日発行	石版多色刷・紙 34.4×27.0cm	実践女子大学香雪記念資料館
9. 手鞠	岡村政子 (1857-1936)	明治28(1895)年	石版多色刷・紙 33.9×24.3cm	実践女子大学香雪記念資料館
10. 人物	渡辺幽香 (1856-1942)	明治時代	油彩・カンヴァス 77.7×56.3cm	東京藝術大学

### 第2章 清原/ラグーザ玉

11. 古器物写生 (KU-d023-03)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年4月	水彩・紙 43.3×50.5cm	東京国立博物館
12. 古器物写生 (KU-d023-04)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年5月	水彩・紙 43.0×49.0cm	東京国立博物館
13. 古器物写生 (KU-d023-08)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年頃	水彩・紙 43.2×50.6cm	東京国立博物館
14. 古器物写生 (KU-d023-09)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年4月	水彩・紙 43.5×49.5cm	東京国立博物館
15. 古器物写生 (KU-d023-10)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年頃	水彩・紙 43.1×49.3cm	東京国立博物館
16. 古器物写生 (KU-d023-12)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年頃	水彩・紙 33.3×49.3cm	東京国立博物館
17. 古器物写生 (KU-d023-16)	清原玉 (1861-1939)	明治13(1880)年頃	水彩・紙 51.6×58.9cm	東京国立博物館
18. 古器物写生 (KU-d023-22)	清原玉 (1861-1939)	明治12(1879)年8月	水彩・紙 43.0×49.4cm	東京国立博物館
19. 春	清原玉/ エレオノーラ・ラグーザ (1861-1939)	明治33(1900)年	油彩・カンヴァス 204.1×132.1cm	東京藝術大学
20. 風景	清原玉/ エレオノーラ・ラグーザ (1861-1939)	大正9～昭和8 (1920-1933)年頃	油彩・カンヴァス 100.4×130.2cm	東京藝術大学
21. シチリア風景	清原玉/ エレオノーラ・ラグーザ (1861-1939)	昭和8～14 (1933～1939)年	油彩・カンヴァスボード 29.7×49.6cm	実践女子大学香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵
22. 薔薇	清原玉/ エレオノーラ・ラグーザ (1861-1939)	昭和8(1933)年頃	油彩・カンヴァス 40.9×53.5cm	実践女子大学香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵

### 第3章 ヘレン・ハイド

作品名	作家名(生没年)など	制作年代	技法・形質・寸法	所蔵先
23. 冬 Winter	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治34(1901)年	木版多色摺・紙 18.5×37.5cm	杜若文庫
24. 入浴 The Bath	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治38(1905)年	木版多色摺・紙 41.5×26.1cm	実践女子大学香雪記念資料館
25. 家路 The Return	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治40(1907)年	木版多色摺・紙 39.0×21.2cm	杜若文庫
26. 福笹 The Good-Luck Branch	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治40(1907)年	木版多色摺・紙 15.6×16.7cm	実践女子大学香雪記念資料館
27. かたこと Baby Talk	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治41(1908)年	木版多色摺・紙 28.8×46.4cm	実践女子大学香雪記念資料館
28. 夏のにわか雨 A Summer Shower	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治42(1909)年	木版多色摺・紙 12.3×33.9cm	実践女子大学香雪記念資料館
29. 六月のある日 A Day in June	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治43(1910)年	木版多色摺・紙 37.2×16.9cm	実践女子大学香雪記念資料館
30. 花と子供 Blossom Child (Uncolored)	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治35(1902)年	エッチング・紙 17.5×15.0cm	杜若文庫
31. 戦争マーチ Marching as to War (Uncolored)	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治37(1904)年	エッチング・紙 15.0×10.0cm	杜若文庫
32. 春の詩 A Spring Poem (Uncolored)	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治39(1906)年	エッチング・紙 20.5×21.6cm	杜若文庫
33. 東京の雨の夜 Rainy Night in Tokyo	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治39(1906)年	エッチング、 アクアチント・紙 29.0×12.6cm	杜若文庫
34. ゴブリン・ランタン Goblin Lantern	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治39(1906)年	エッチング、 アクアチント・紙 18.6×18.9cm	杜若文庫
35. 赤い傘 The Red Umbrella (Uncolored)	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治43(1910)年	エッチング・紙 30.5×10.0cm	杜若文庫
36. 竹垣 The Bamboo Gate	ヘレン・ハイド (1868-1919)	大正4(1915)年	エッチング、 アクアチント・紙 17.6×12.5cm	杜若文庫

### 第4章 アジアを旅した外国人女性版画家たち

37. ソースパン・ショップ（蘇州風景） The Sauce-Pan Shop	ヘレン・ハイド (1868-1919)	明治41(1908)年	木版多色摺・紙 25.4×37.9cm	実践女子大学香雪記念資料館
38. 市場へ Going to Market	ヘレン・ハイド (1868-1919)	大正元(1912)年	木版多色摺・紙 25.4×37.9cm	実践女子大学香雪記念資料館
39. 海の精 Spirit of the Sea	バーサ・ラム (1869-1954)	大正5(1916)年	木版多色摺・紙 45.1×30.7cm	実践女子大学香雪記念資料館
40. ソウルの東門 East Gate. Seoul	エリザベス・キース (1887-1956)	大正9(1920)年	木版多色摺・紙 31.1×45.5cm	実践女子大学香雪記念資料館
41. 夜店 蘇州	エリザベス・キース (1887-1956)	大正13(1924)年	木版多色摺・紙 38.4×25.7cm	実践女子大学香雪記念資料館
42. 塗工職人	エリザベス・キース (1887-1956)	大正時代	紙本墨画淡彩・1枚 30.0×22.4cm	実践女子大学香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵



展覧会名：中国美術に親しむ  
— 原寸大複製画と館蔵品展 —

会期：前期 2024年12月9日(月)～2025年1月31日(金)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催：実践女子大学香雪記念資料館

後援：実践女子大学文学部美学美術史学科

広報媒体の記録：

Bunkamura 洪アート 12月9日「【展覧会情報】中国美術に親しむ — 原寸大複製画と館蔵品展 —」



ポスターデザイン：矢野綾香



展示風景

当館では2007年度以降、本学文学部美学美術史学科主催・企画のもと、博物館学課程が所蔵する精巧な複製画を用いて中国絵画を紹介する展覧会を毎年開催してきた。複製画は二玄社が発行する原寸大の中国絵画であり、繊細な筆遣いや画面の迫力の一端を伝えてくれるものである。

本年度は当館が主催となり、崔伯《双喜図》(北宋、原画は国立故宫博物院(台北)蔵)や八大山人『山水花鳥冊』(清代、原画は上海博物館蔵)など、宋代から元・明・清代までの複製画を52点展示した。

中国絵画の代表的な作品の多くは、中国をはじめとした海外の美術館・博物館に所蔵されており、実際に鑑賞する機会を得ることは容易ではない。したがって展示する作品が複製ではあるものの、本展は中国絵画を原寸大かつ原画同様の形式(掛軸、画卷、画帖など)で鑑賞することを可能としたものであり、中国絵画を身近に感じ理解する一助となり得る貴重な機会となっている。また、あわせて当館が所蔵する青花人物文有蓋壺も展示した。



# 《出品目録》中国美術に親しむ ― 原寸大複製画と館蔵品展 ―

☆以外は全て複製

作品名	時代	作者名	制作年代	形質・員数・寸法(原本)	原本所蔵先
1. 容膝齋図 ようしつさいず	元	倪瓚 げいさん (1306[旧説1301]-1374)	洪武5年(1372)	紙本墨画 1幅 74.7×35.5cm	国立故宫博物院(台北)
2. 青卞隱居図 せいべんいんきょず	元	王蒙(1308-1385) おうもう	至正26年(1366)	紙本墨画 1幅 140.6×42.2cm	上海博物館
3. 具区林屋図 ぐくりんおくず	元	王蒙(1308-1385) おうもう	1370年代	紙本墨画着色 1幅 68.7×42.5cm	国立故宫博物院(台北)
4. 洞庭漁陽図 どうていぎょえいんず	元	呉鎮(1280-1354) ご ちん	至正元年(1341)	紙本墨画 1幅 146.4×58.6cm	国立故宫博物院(台北)
5. 秋庭戲嬰図 しゅうていぎえいず	南宋	蘇漢臣 そかんしん	12世紀	絹本着色 1幅 197.5×108.7cm	国立故宫博物院(台北)
6. 双喜図 そう き ず	北宋	崔白 さいはく	嘉祐6年(1061)	絹本墨画着色 1幅 193.7×103.4cm	国立故宫博物院(台北)
7. 丹楓呦鹿図 たんふうゆうろくず	五代	作者不明	10世紀	絹本着色 1幅 118.5×64.6cm	国立故宫博物院(台北)
8. 谿山行旅図 けいざんこうりょず	北宋	范寛 はんかん	11世紀前半	絹本墨画淡彩 1幅 206.3×103.3cm	国立故宫博物院(台北)
9. 早春図 そうしゅんず	北宋	郭熙(1000頃-1090頃) かく き	熙寧5年(1072)	絹本墨画淡彩 1幅 158.3×108.1cm	国立故宫博物院(台北)
10. 萬壑松風図 ばんかくしょうふうず	北宋	李唐 り とう	宣和6年(1124)	絹本着色 1幅 188.7×139.8cm	国立故宫博物院(台北)
11. 狸奴小影図 冊頁 りどしょうえいず さいつげつ	南宋	李迪 り てき	淳熙元年(1174)	絹本着色 1幅 23.6×24.1cm	国立故宫博物院(台北)
12. 蘋果山禽図团扇 冊頁 ひんがさんきんずだんせん さいつげつ	南宋	作者不明	13世紀	絹本着色 1面 24.9×25.4cm	国立故宫博物院(台北)
13. 花籠図 冊頁 はなかごず さいつげつ	南宋	(伝)李嵩(1166-1242) り ふう	13世紀	絹本着色 1幅 26.1×26.3cm	国立故宫博物院(台北)
14. 秉燭夜遊図团扇 冊頁 へいしよくやゆうずだんせん さいつげつ	南宋	馬麟 ば りん	13世紀	絹本着色 1面 24.8×25.2cm	国立故宫博物院(台北)
15. 鵲華秋色図卷 じゃくかしゅうしよくずかん	元	趙孟頫(1254-1322) ちようもう ふ	元貞元年(1295)	紙本着色 1巻 28.4×93.2cm	国立故宫博物院(台北)
16. 富春山居図卷 ふしゅんさんきょずかん	元	黄公望(1269-1354) こうこうぼう	至正10年(1350)	紙本墨画 1巻 33.0×636.9cm	国立故宫博物院(台北)
17. 花卉草虫図扇面 かきそうちゅうずせんめん	明	陳洪綬(1599-1652) ちんこうじゅ	万曆30年(1602)	金箋着色 1面 16.8×53.0cm	国立故宫博物院(台北)
18. 虞美人図扇面 ぐびじんずせんめん	清	惲寿平(1633-1690) うんじゅへい	17世紀	紙本着色 1面 18.1×53.0cm	国立故宫博物院(台北)
19. 覚庵図『黄山図冊』より かくあんず	清	弘仁(1610-1664) こうにん	17世紀	紙本墨画淡彩 1冊 21.5×18.3cm	故宫博物院(北京)
20. 臥龍松図『黄山図冊』より がりゅうしょうず	清	弘仁(1610-1664) こうにん	17世紀	紙本墨画淡彩 1冊 21.5×18.3cm	故宫博物院(北京)
21. 桃華溝図『黄山図冊』より とうかこうず	清	弘仁(1610-1664) こうにん	17世紀	紙本墨画淡彩 1冊 21.5×18.3cm	故宫博物院(北京)
22. 桐下高士図扇面 とうかこうしずせんめん	明	唐寅(1470-1523) とういん	15世紀	金箋墨画淡彩 1面 18.0×49.5cm	国立故宫博物院(台北)
23. 蕉下弾琴図扇面 しょうかだんきんずせんめん	明	沈周(1427-1509) しんしゅう	15世紀～16世紀	紙本墨画着色 1面 16.5×50.2cm	国立故宫博物院(台北)
24. 廬山高図 ろざんこうず	明	沈周(1427-1509) しんしゅう	成化3年(1467)	紙本墨画着色 1幅 193.8×98.1cm	国立故宫博物院(台北)
25. 古木寒泉図 こぼくかんせんず	明	文徵明(1470-1559) ぶんちようめい	嘉靖28年(1549)	絹本墨画淡彩 1幅 194.1×59.3cm	国立故宫博物院(台北)
26. 山路松声図 さんろしょうせいず	明	唐寅(1470-1523) とういん	正徳11年(1516)頃	絹本墨画着色 1幅 194.5×102.8cm	国立故宫博物院(台北)

作品名	時代	作者名	制作年代	形質・員数・寸法(原本)	原本所蔵先
27. さんめうひやくきんず 三友百禽図	明	へんぶんしん 辺文進(1356頃-1428頃)	永楽11年(1413)	絹本墨画着色 1幅 151.3×78.1cm	国立故宫博物院(台北)
28. せんざんろうかくず 仙山楼閣図	明	きやうえい 仇英(1494頃-1552)	嘉靖29年(1550)	紙本墨画着色 1幅 110.5×42.1cm	国立故宫博物院(台北)
29. ほうけいほうこず 葑涇訪古図	明	とうきしやう 董其昌(1555-1636)	万暦30年(1602)	紙本墨画 1幅 80.8×29.8cm	国立故宫博物院(台北)
30. ほうおうもうかじつさんきよず 傲王蒙夏日山居図	清	おうげん き 王原祁(1642-1715)	康熙33年(1694)	紙本着色 1幅 96.5×49.0cm	国立故宫博物院(台北)
31. らんちくず 蘭竹図	清	せきとう 石涛(1642-1707) おうげん き 王原祁(1642-1715)	康熙30年(1691)	紙本墨画 1幅 134.2×57.7cm	国立故宫博物院(台北)
32. けいざんこうじゆず 溪山紅樹図	清	おう き 王翬(1632-1717)	康熙9年(1670)	紙本墨画着色 1幅 112.4×39.5cm	国立故宫博物院(台北)
33. じつちくさいせんぶ 十竹齋箋譜 【復刻】	明	こ せいげん じつちくさい 胡正言(十竹齋) 撰	崇禎17年(1644) 原刊本	木版多色摺 線装本 4冊	個人蔵
34. らけんへんこせんぶ 蘿軒變古箋譜 【復刻】	明	ごはっしやう 呉発祥 編	天啓6年(1626) 原刊本	木版多色摺 線装本 2冊	上海博物館
35. らけんへんこせんぶ 蘿軒變古箋譜 【復刻】	明	ごはっしやう 呉発祥 編	天啓6年(1626) 原刊本	木版多色摺 線装本 全1冊	東京藝術大学
36. ぼたんず 牡丹図『花卉山水合冊』より	清	うんじやへい 惲寿平(1633-1690)	康熙11年(1672)	紙本着色 1面 28.5×43.1cm	国立故宫博物院(台北)
37. とうかぎよていず 桃花漁艇図『花卉山水合冊』より	清	おう き 王翬(1632-1717)	康熙11年(1672)	紙本着色 1面 28.5×43.1cm	国立故宫博物院(台北)
38. こうりんしゅうせいず 紅林秋霽図『花卉山水合冊』より	清	おう き 王翬(1632-1717)	康熙11年(1672)	紙本墨画淡彩 1面 28.5×43.1cm	国立故宫博物院(台北)
39. か か ず 荷花図『安晩帖』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 31.7×27.5cm	泉屋博古館
40. うずらず 鶉図『山水花鳥冊』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 38.8×31.5cm	上海博物館
41. すうけいず 雛鶏図『山水花鳥冊』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 38.8×31.5cm	上海博物館
42. はちやうず 叭々鳥図『山水花鳥冊』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 38.8×31.5cm	上海博物館
43. さんすいず 山水図『山水花鳥冊』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 38.8×31.5cm	上海博物館
44. さんすいず 山水図『山水花鳥冊』より	清	はちだいさんじん 八大山人(1626-1705)	康熙33年(1694)	紙本墨画 1冊 38.8×31.5cm	上海博物館
45. きやうかず 杏花図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
46. ぎよくらんず 玉蘭図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
47. ばいかず 梅花図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
48. すいせんず 水仙図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
49. ばら ず 薔薇図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
50. ばしょうず 芭蕉図『花卉図冊』より	清	せきとう 石涛(1642-1707)	康熙33年(1694)	紙本墨画淡彩 1冊 31.2×20.4cm	上海博物館
51. こうざんはっしやうがさつ 『黄山八勝画冊』	清	せきとう 石涛(1642-1707)	17世紀	紙本墨画淡彩 1冊 20.1×26.8cm	泉屋博古館
52. せいかじんぶつもんめうがいこ 青花人物文有蓋壺 ☆	明～清		17世紀～20世紀	陶磁器・壺 1合	実践女子大学香雪記念 資料館

展覧会名：特集展示 下田歌子のあゆみと芸術へのまなざし

会期：2024年4月1日(月)～5月10日(金)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 下田歌子記念室

主催：実践女子大学香雪記念資料館



展示風景

本学の創立者である下田歌子は、安政元年（1854）、美濃国岩村（現在の岐阜県恵那市岩村町）に誕生した。18歳で上京、翌年より7年余り宮中に奉仕し、当時の皇后（後の昭憲皇太后）に歌才を愛でられ、「歌子」の名を賜ったと伝えられている。宮中を辞してからには教育者としての道を歩み、欧米諸国の教育視察等を経て、明治32年（1899）に帝国婦人協会の教育部門として、本学園の前身である実践女学校・実践女子工芸学校を創立した。一般女性の教育の重要性を説き、女性の自立と自覚を促す広範な啓蒙活動が続け、昭和11年（1936）にその生涯を閉じるまで、教育者としての姿勢を貫いている。

このような教育者、啓蒙者として活動した歌子を紹介する「下田歌子記念室」では、旧蔵の宮中御下賜品や歌子ゆかりの書画をはじめ、文学著作、書簡、和歌作品、教育事業関係資料、父祖三代関係資料など、学園が所蔵する下田歌子関係資料を中心に「下田歌子のあゆみと芸術のまなざし」と題して公開をしている。歌子の肖像や、本人が実際に使っていた腕時計や手鏡などの遺愛の品、北白川宮家より御下賜された蒔絵蝙蝠文手文庫や各宮家より御下賜されたボンボニエールなどを展示した。

## 《出品目録》 特集展示 下田歌子のあゆみと芸術へのまなざし

〈 〉内番号は実践女子大学図書館『下田歌子データベース』の出納番号に対応しています。

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. <small>どうせいさき もんしょうかびん</small> 銅製笹りんどう紋小花瓶	<small>あんどうしつぽうてんせい</small> 安藤七宝店製	明治39年(1906)		銅・七宝・1口 口径7.5×高12.4cm	実践女子大学 図書館〈2934〉
2. <small>きたしらかわのみやげごかし</small> 北白川宮家御下賜 <small>まきえこうもりもんでぶんこ</small> 蒔絵蝙蝠文手文庫		明治28年(1895)		木製漆塗・1個 22.8×16.7cm 高さ6.3cm	実践女子大学 図書館〈2930〉
3. <small>はちりょうきょう さくらそうせんめんず</small> 八稜鏡に桜草扇面図	<small>しも だうた こ</small> 下田歌子 (1854-1936) <small>しょ</small> 書 <small>つた やりゅうこう</small> 蔦谷龍岬 (1886-1933) <small>が</small> 画	19世紀後半 ～20世紀初期	和歌 「暖けき 春の女神に恵まれて あら野の草も 花にさくらん」  款記「龍岬」 印章「龍岬」朱文長方印	絹本墨書、着色・1幅 23.5×31.8cm	実践女子大学 図書館〈0021〉
4. <small>しょうぞうが</small> 肖像画	<small>えいこう</small> 英光 (生没年不詳)	大正12年(1923)	署名 「大正十二年 英光」	油彩・キャンバス・1面 65.5×50.3cm	実践女子大学 図書館〈2763〉
5. <small>きじゅきねんしょうぞうが</small> 喜寿記念肖像画		昭和5年(1930)		油彩・板・1面 45.1×37.3cm	実践女子大学 図書館〈2917〉
6. <small>しも だうた こ あいよう</small> 下田歌子愛用の <small>こうちやうしつづ(え い す</small> 校長室机・椅子		19世紀後半 ～20世紀初期		木製・1組 机 奥行76.0cm 幅136.8cm 高さ105.8cm 椅子 奥行63.5cm 幅64.8cm 高さ80.2cm	実践女子大学 図書館〈4670〉
7. <small>かまくらぼりさくらすずりばこ</small> 鎌倉彫桜硯箱		19世紀後半 ～20世紀初期		木、漆、蒔絵・1合 23.3×16.3cm 高さ3.5cm	実践女子大学 図書館〈2913〉
8. <small>とまぶねがた</small> 古船形ボンボニエール		20世紀前半		銀製・1個 10.7×3.0cm 高さ2.5cm	実践女子大学 図書館〈3248〉
9. <small>ぶんこがた</small> 文庫形ボンボニエール				銀製・1個 5.7×4.9cm 高さ2.1cm	実践女子学園
10. <small>りっかがたきく まがたまもん</small> 六花形菊に勾玉文 ボンボニエール				銀製・1個 直径5.6×2.2cm	実践女子学園
11. <small>おやこがめおきものがた</small> 親子亀置物形 ボンボニエール				銀製・1個 3.9×4.9 高さ4.1cm	実践女子学園
12. <small>ろっかくからびつがた</small> 六角唐櫃形 ボンボニエール				銀製・1個 6.0×6.8cm 高さ3.7cm	実践女子学園
13. <small>しも だうた こ あいよう うでどけい</small> 下田歌子愛用の腕時計	<small>せい</small> MOERIS製	19世紀後半 ～20世紀初期		1個 径2.0cm 長さ17.1cm	実践女子大学 図書館〈3666〉
14. <small>しも だうた こ あいよう てちやう</small> 下田歌子愛用の手帳	<small>しも だうた こ</small> 下田歌子 (1854-1936)	昭和2～8年 (1927～33)頃所持		1冊 12.3×7.6cm	実践女子大学 図書館〈0595〉
15. <small>しも だうた こ あいよう てかがみ</small> 下田歌子愛用の手鏡		19世紀後半 ～20世紀初期		1面 幅12.8cm 長さ32.1cm	実践女子大学 図書館〈2938〉



## 展覧会名：新収蔵品を中心とする女性画家展

会期：2024年6月10日(月)～8月3日(土)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 下田歌子記念室

主催：実践女子大学香雪記念資料館

広報媒体の記録：Bunkamura 洪アート 7月4日『『新収蔵品を中心とする女性画家展』』



ポスターデザイン：矢口まゆみ



展示風景

当館では女性画家の作品収集に積極的に取り組んでいる。2023年度には新たに31点の作品を収蔵した。この中より、制作年を戦後に求めることができる洋画、版画作品については、企画展「戦後の女性画家たち ―有馬ささえ・朝倉摂・毛利真美・小林喜巳子・招瑞娟―」において初公開することとなった。同時開催となった本展では2023年度新規収蔵品の中より、和歌集を手にする女性を描いた伊藤小坡(1877-1968)《早春》をはじめ、跡見玉枝(1859-1943)《鍾馗》、《桜花双鳩》、島成園(1892-1970)《住吉詣》の4点の日本画を展示した。これら新収蔵品の公開にあわせて、これまでの所蔵品から島成園、木谷千種(1895-1947)、上村松園(1875-1949)による『大近松全集』(大近松全集刊行会、1923年)付録の版画作品などを加えた全9点で本展を構成し、女性画家たちが手掛けた主題の幅の広さ、多様な制作活動を紹介した。

## 《出品目録》特集展示 新収蔵品を中心とする女性画家展

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. 早春 <small>そうしゅん</small>	いとうしょうは 伊藤小坡 (1877-1968)	昭和時代	款記「小坡」 印章「佐止」(朱文長方印)	絹本着色・1幅 51.2×56.6cm	実践女子大学 香雪記念資料館
2. 夕涼 <small>ゆうずゐ</small>	しませいえん 島成園 (1892-1970)	20世紀前半	款記「成園」 印章「成園女史」(朱文方印)	絹本着色・1幅 119.2×27.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館
3. 住吉詣 <small>すみよしもうで</small>	しませいえん 島成園 (1892-1970)	20世紀	款記「成園」 印章「成」(朱文方印)	絹本着色・1幅 85.9×41.9cm	実践女子大学 香雪記念資料館
4. 桜下双鳩 <small>おうかしやうきゆう</small>	あとしみ ぎよくし 跡見玉枝 (1859-1943)	19世紀後半 ～20世紀前半	款記「玉枝女史」 印章「跡見玉枝」(白文方印)	絹本着色・1幅 109.1×34.3cm	実践女子大学 香雪記念資料館
5. 鍾馗 <small>しょうき</small>	あとしみ ぎよくし 跡見玉枝 (1859-1943)	明治37年 (1904)	款記「明治三十七年五月 玉枝勝寫」 印章「跡見玉枝」(白文方印)	絹本着色・1幅 99.6×41.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館
6. 雪女 <small>ゆきおんな</small> (「大近松全集」第12巻附録) <small>だいちかまつぜんしゅう だい かんふろく</small>	うまむらしやうえん 上村松園 (1875-1949)	大正12年 (1923)	款記「松園」 印章「松園」(白朱文方印連印)	木版多色刷・1枚 45.7×28.6cm	実践女子大学 香雪記念資料館
7. 夕霧 <small>ゆうぎり</small> (「大近松全集」第10巻附録) <small>だいちかまつぜんしゅう だい かんふろく</small>	しませいえん 島成園 (1892-1970)	大正12年 (1923)	款記「成園」	木版多色刷・1枚 45.7×29.6cm	実践女子大学 香雪記念資料館
8. お千代 <small>ち よ</small> (「大近松全集」第14巻附録) <small>だいちかまつぜんしゅう だい かんふろく</small>	き たにち ぐさ 木谷千種 (1895-1947)	大正12年 (1923)	款記「千種」 印章「千久き」(白文橢円印)	木版多色刷・1枚 45.5×29.2cm	実践女子大学 香雪記念資料館
9. 新浮世絵美人合 七月 ゆあがり <small>しんうきよえびじんあわせ しちがつ</small>	しませいえん 島成園 (1892-1970)	大正7年 (1918)	款記「成園」	木版多色刷・1枚 44.3×28.7cm	実践女子大学 香雪記念資料館

## 展覧会名：所蔵品による特集展示

会期：Ⅰ期 2024年9月16日(月)～9月29日(日)

Ⅱ期 2024年10月5日(土)～11月23日(土)

Ⅲ期 2024年12月9日(月)～2025年1月31日(金)

会場：実践女子大学香雪記念資料館 下田歌子記念室

主催：実践女子大学香雪記念資料館

広報媒体の記録：Bunkamura 洪アート 9月6日「『所蔵品による特集展示Ⅰ—源氏物語と紫式部—』」

Bunkamura 洪アート 10月2日「『所蔵品による特集展示Ⅱ—ラゲザ玉関連資料を中心に—』」

Bunkamura 洪アート 12月9日「『所蔵品による特集展示Ⅲ—近代の文人画を中心に—』」



ポスターデザイン：矢野綾香



所蔵品による特集展示Ⅱ 展示風景

開館以来、拡充を続けているコレクションの展示、公開の機会を増やすために、今年度は下田歌子記念室においても積極的に所蔵品を紹介することを試み、同時期に開催している企画展と関連する内容で、「所蔵品による特集展示」として、3期にわけて展示を行った。

Ⅰ期においては、国文学科主催の企画展にあわせて、副題「源氏物語と紫式部」のもと、「源氏物語」の場面を表した《源氏物語図屏風(夕霧・浮舟)》や河鍋暁翠《紫式部図》など、近世から近代までの作品を中心に展示をした。Ⅱ期は、「ラゲザ玉関連資料を中心に」を副題として、同時期開催の企画展の中心的作家の一人である清原玉/エレオノーラ・ラゲザ(1861-1939)に焦点をあてた。展示では清原の作品と港区・長玄寺にある石碑からとられた畑正吉旧蔵「ラゲザ玉女史石碑拓本」をはじめとする関連資料、ならびに清原玉と同時代の女性画家となる野口小薊(1849-1917)や都鳥雪香(1873-?)による作品を紹介した。Ⅲ期では、企画展の中国美術にあわせて、副題を「近代の文人画を中心に」とし、江馬細香(1787-1861)《四君子卷》や橋本青江(1828-?)《雪中山水図》など日本における文人画を中心として展示をした。

なお、ラゲザ玉関連資料は、畑正吉旧蔵品である。ここに記して、ご寄贈下さった関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 《出品目録》所蔵品による特集展示Ⅰ〈源氏物語と紫式部〉

〈 〉内番号は実践女子大学図書館『下田歌子データベース』の出納番号に対応しています。

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. <small>げんじものがたりずびょうぶ</small> 源氏物語図屏風 <small>ゆうざり うきふね</small> (夕霧・浮舟)		17世紀前半		紙本金地着色・4曲1隻 37.1×109.0cm	実践女子大学 香雪記念資料館
2. <small>むらさきしまぶず</small> 紫式部図	<small>きよはらゆきのぶ</small> 清原雪信 (1643-82)	17世紀後半	款記「清原氏女雪信筆」 印章「清原女」朱文八角印	絹本着色・1幅 33.7×54.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
3. <small>やまとえじんぶつず</small> 大和絵人物図	<small>かわさきしょうこ</small> 川崎小虎 (1886-1977)	20世紀	落款「小虎」 印章「小虎」朱文方印	絹本着色・1幅 128.0×50.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵
4. <small>むらさきしまぶず</small> 紫式部図	<small>かわなべきょうすい</small> 河鍋暁翠 (1868-1935)	19世紀末 ～20世紀前半	款記「暁翠画」 印章「暁翠」朱文方印	絹本着色・1幅 117.2×42.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
5. <small>しもだうたごあいよう</small> 下田歌子愛用の <small>こうちやうしつぐいす</small> 校長室机・椅子		19世紀後半 ～20世紀初期		木製・1組 机 奥行76.0cm 幅136.8cm 高さ105.8cm 椅子 奥行63.5cm 幅64.8cm 高さ80.2cm	実践女子大学 図書館 (4670)
6. <small>げんじものがたりえまき</small> <small>はくびよう</small> 源氏物語絵巻 白描		[江戸時代初期]		紙本墨画・全3巻 1巻14.0×760.9cm 2巻14.0×824.3cm 3巻14.0×671.4cm	実践女子大学図 書館

## 《出品目録》所蔵品による特集展示Ⅱ〈ラグーザ玉関連資料を中心に〉

〈 〉内番号は実践女子大学図書館『下田歌子データベース』の出納番号に対応しています。

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. <small>たまじよしせきむたくほん</small> ラグーザ玉女史石碑拓本		昭和14(1939)年 11月	銘「昭和十四年十一月建 玉光會 堀 通名 菊池鑄太郎 佐野 昭 金沢正次 松岡 壽 渡邊直達 畑 正吉 岩崎雅通」	紙・拓版・1幅 162.8×60.5cm	実践女子大学 香雪記念資料館
2. <small>きくかけんぶつず</small> 菊花見物図	<small>のぐちしょうん</small> 野口小蘋 (1847-1917)	明治10年代後半～ 20年代後半頃 (1882-1896頃)	款記「日本小蘋女史観」 印章「小蘋女史」朱文方印	絹本着色・1幅 33.0×48.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
3. <small>かちょうず</small> 花鳥図	<small>ととりせつこう</small> 都鳥雪香 (1873-?)	19世紀末～ 20世紀	落款「雪香女史」 印章「雪香」朱文長方印	絹本着色・1幅 141.6×54.7cm	実践女子大学 香雪記念資料館
4. <small>びじんず</small> 美人図	<small>ちせ</small> 千勢 (生没年不詳)	19世紀末～ 20世紀前半	款記「千勢女寫」 印章「千瀬」朱文連印、 「松高白鶴眠」朱文方印	絹本着色・1幅 130.5×41.1cm	実践女子大学 香雪記念資料館
5. <small>ごせつくうちまぐづき</small> 五節句の内 菊月	<small>かわなべきょうすい</small> 河鍋暁翠 (1868-1935)	明治40(1907)年 以前	落款「暁翠」	紙・木版多色摺・3枚 右:35.6×23.4cm 中:35.5×23.4cm 左:35.6×23.4cm	実践女子大学 香雪記念資料館
6. <small>らんず</small> 蘭図	<small>きよはらたま</small> 清原玉/ エレオノーラ・ラグーザ (1861-1939)	昭和8～14 (1933～1939)年	落款「Eleonora Ragusa」	絹本着色・1枚 24.2×27.1cm	実践女子大学 香雪記念資料館
7. <small>きよはらはつえそうこうかい</small> 清原初枝社行会 集合写真		昭和6(1931)年 4月28日		写真・1枚 11.2×15.2cm	実践女子大学 香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵



作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
8. 『ラグーザお玉』 <small>たま</small>	著者:木村穀 (1894-1979)	昭和6(1931)年 刊行		書籍・1冊	実践女子大学 香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵
9. 下田歌子愛用の 校長室机・椅子 <small>しもだうたこあいよう こうちようしつづい いす 校長室机・椅子</small>		19世紀後半～ 20世紀初期		木製・1組 机 奥行76.0cm 幅136.8cm 高さ105.8cm 椅子 奥行63.5cm 幅64.8cm 高さ80.2cm	実践女子大学 図書館 (4670)

## 《出品目録》所蔵品による特集展示Ⅲ 〈近代の文人画を中心に〉

〈 〉内番号は実践女子大学図書館『下田歌子データベース』の納冊番号に対応しています。

作品名	作者名(生没年)など	制作年代	款記・印章・書等	材質・技法・員数・寸法	所蔵先
1. 雪中山水図 <small>せっちゅうさんすいず</small>	はしもとせいこう 橋本青江 (1828-没年不詳)	19世紀後半	落款「倣黄雀山人筆 青江橋瑩」 印章「半日閑居」白文方印	紙本墨画淡彩・1幅 111.1×19.9cm	実践女子大学 香雪記念資料館
2. 四季山水図のうち 秋景図 <small>しきさんすいず しゅうけいず 秋景図</small>	かわ べ せいらん 河邊青蘭 (1868-1931)	大正12(1923)年	落款「青蘭河氏画」 印章「河邊元印」白文方印 「青蘭」朱文方印 「碧玉」朱文半円印・関防印	紙本墨画・1幅 132.9×33.3cm	実践女子大学 香雪記念資料館
3. 四季山水図のうち 冬景図 <small>しきさんすいず とうけいず 冬景図</small>	かわ べ せいらん 河邊青蘭 (1868-1931)	大正12(1923)年	印章「河邊元印」白文方印 「青蘭」朱文方印 「碧玉」朱文半円印・関防印	紙本墨画・1幅 132.9×33.3cm	実践女子大学 香雪記念資料館
4. 竹林茅屋図 <small>ちくりんぼうおくず</small>	しら い う ざん 白井雨山 (1864-1928)	大正6(1917)年	落款「丁巳新春試毫 可正道人保」 印章「白井雨山」白文方印 「千朵山房主」朱文方印	紙本墨画・1幅 131.5×30.8cm	実践女子大学 香雪記念資料館 畑 正吉旧蔵
5. 草履達磨図 <small>ぞうりだるまづ</small>	い とう ばい げつ 伊東梅月 (?-1846?)	19世紀	落款「梅月女史」 印章「文錦堂女」白文方印 「梅月」朱文方印	絹本着色・1幅 90.1×32.6cm	実践女子大学 香雪記念資料館
6. 四君子巻 <small>しくんしかん</small>	え ま さいこう 江馬細香 (1787-1861)	安政5(1858)年	印章「江馬裊」白文方印 「湘夢」白文方印 「綴風」朱文橢円印・関防印	紙本墨画淡彩・1巻 29.2×947.2cm	実践女子大学 香雪記念資料館
7. 武村耕靄画帖 <small>たけむらこうあいがじょう</small>	たけむらこうあい 武村耕靄 (1852-1915)	明治36年(1903)		紙本着色・1冊 30.3×21.2cm	実践女子大学 香雪記念資料館
8. 下田歌子愛用の 校長室机・椅子 <small>しもだうたこあいよう こうちようしつづい いす 校長室机・椅子</small>		19世紀後半～ 20世紀初期		木製・1組 机 奥行76.0cm 幅136.8cm 高さ105.8cm 椅子 奥行63.5cm 幅64.8cm 高さ80.2cm	実践女子大学 図書館(4670)



### 梅月筆《草履達磨図》について

当館蔵《草履達磨図》(2018年収蔵)の作者については村田梅月筆と伝えられていたが、このほど鶴岡市致道博物館の相原久生氏より伊東梅月(?～1846?)の筆であるとのことご教示を頂いた。梅月は山形・酒田出身の絵師で、近年、相原氏たちによって調査が行われた人物である。ご教示下さいました相原氏にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

参考文献:「酒田市立資料館第223回企画展 梅月 謎多き酒田の女絵師《新収蔵品展》」

解説パンフレット、酒田市立資料館、2021年

伊東梅月《草履達磨図》江戸時代後期、実践女子大学香雪記念資料館蔵

## 2. 教育普及

### 博物館実習生受入

実施月日	内 容	実習生
7/17～19、22、23	講義・作品の取り扱い・ギャラリートーク・展示実習など	11

### 博物館実習の風景



掛け軸の取り扱い、展示



テグスを用いた陶磁器類の固定方法の練習



パネル・キャプションづくり



ギャラリートーク発表

### 博物館実習報告

#### 1 本年度の実習生受入状況

香雪記念資料館では、2004年度より実践女子大学博物館学課程の実習生の受け入れを行っている。2024年度は11名の実習生が当館での実習に参加した。例年、実習受入は前期・後期に行っていたが、本年度は受け入れ人数の関係から、前期のみの実施とした。

## 2 実習プログラムの内容

2024年6月に文化庁より提示された「博物館実習ガイドライン」が示す「館園実習」では、博物館実習の目的を「学内実習で学んだ内容を博物館の現場で実際に経験することで、博物館の理念や設置目的、業務の流れ等に対する理解を深めるのと同時に、博物館資料の取り扱いや教育普及活動、来館者対応等実務の一端を担うことにより、学芸員としての責任感や社会意識を身に付け、博物館で働く心構えを涵養すること」としている。この指針に基づき、当館では日々の業務内容や大学博物館としての位置づけなどについて説明するとともに、作品の取り扱いやギャラリートーク、展示室の環境整備、展示実習等の実務的な作業に多くの時間を充て、実習生が実際の体験として博物館活動について深く学べる内容となることを目指した。

今年度を実施した実習プログラムを以下の表に示す。

**表 実習プログラム**（実習生11名）

日 時	内 容
7月17日（水） 10：30～17：30	オリエンテーション、バックヤード見学（展示室、学芸員室、収蔵庫等）、館の活動についての説明、掛軸および額の取り扱いと展示、調書の作成
7月18日（木） 10：30～17：30	展示用品の説明および整理、展示におけるパネルの意義とその種類について、テグスを用いた陶磁器類の固定方法、展示室の環境維持の重要性について
7月19日（金） 10：30～17：30	大学博物館について、國學院大學博物館（常設展・企画展）見学、パネル・キャプションづくり（文章準備）
7月22日（月） 10：30～17：30	博物館における教育普及について、ギャラリートーク準備（事前調査）、パネル・キャプションづくり（スチロールパネルへの貼付け、カット）
7月23日（火） 10：30～17：30	博物館業務について（コレクションの形成、方針）、ギャラリートーク（原稿づくり、発表）、館内配布物の整理、まとめ

## 3 実習の成果

当館では、2004年9月に「博物館相当施設」として指定を受けて以来、延べ296名の実習生を受け入れてきた。近年も毎年15名前後の学生を受け入れており（2017-10名、2018-8名、2019-7名、2020-9名、2021-18名、2022-17名、2023-8名、2024年-11名）、このなかから美術館にて関連業務に勤めるものや、実際に学芸員として活躍する卒業生を輩出している。

大学博物館である当館では、実習生が単に学芸員資格の取得を目指す場を提供するだけでなく、社会で活躍するための基本的なマナーや協調性、コミュニケーション能力等を身に付けることができる実習プログラムを提供している。あわせて、作品の取り扱いおよび展示業務、教育普及の一端を、実際の現場で担うことによって、実習生たちが作品や作者への敬意を持ち、また、各美術館における活動への理解と共感をもつ良き鑑賞者となることをも支援している。

### 3. 新収蔵作品

#### 2024年度 購入作品（9点）

作品名	作者	制作年代	形質・員数	号数／寸法(cm)
ゆふばえ	池田 蕉園	20世紀初期 (明治～大正時代)	絹本着色・1幅	150.6×41.4
静日	梶原 緋佐子	1950年代	絹本着色・1幅	45.5×51.2
市場へ 原題：Going to Market	ヘレン・ハイド	1912年	紙・木版 1枚	29.0×10.8 外寸：38.3×19.8
黒盆に梅	小畠 鼎子	昭和時代	絹本着色・1幅	140.8×65.5
唐美人	寺崎 広業	明治30年代	絹本着色・1幅	127.9×70.3
百福図	奥原 晴湖	1890年	絹本墨画・1幅	124.6×63.8
忠臣義士	岡村 政子	1891年頃	紙・石版 1枚	41.1×108.6 外寸：45.8×116.7
童女図	栗原 玉葉	大正時代	絹本着色・1幅	112.6×40.0
待乳山	池田 輝方	大正時代	絹本着色・1幅	128.1×41.3

#### 2024年度 寄贈作品（4点）

作品名	作者	制作年代	形質・員数	号数／寸法(cm)
(果実図)	清原 玉/ エレオノーラ・ラグーザ	1938年	絹本着色・1枚	24.2×27.2
題名不詳 (倒立をする人物)	朝倉 摂	1950年代	キャンバス・顔料 1面	53.0×41.0
ドローイング群	朝倉 摂	昭和時代	紙・水彩、木炭、 色鉛筆ほか	
(中国故事人物画)	(伝) 塩川 文麟	19世紀	絹本着色・2幅	松：103.2×37.2 竹：103.3×37.2

### 4. 所蔵作品貸出

#### 2024年度（1件・1点）

No.	作者名	作品名	会場(貸出先)	展覧会名	展覧会会期
1	跡見花蹊	桜下飛燕図	京都市京セラ美術館	京都市立芸術大学移転記念 特別展 巨匠たちの学び舎	2024年 10月11日(金)～ 12月22日(日)



## 5.『実践女子大学香雪記念資料館館報』の編集及び投稿に関する要領

(2021年11月24日制定)

2023年6月27日改正

(目的)

第1条 この要領は、実践女子大学香雪記念資料館（以下「資料館」という。）規程第3条に基づき、資料館が発行する『実践女子大学香雪記念資料館館報』（以下「館報」という。）の編集及び投稿に関する必要な事項を定める。

(館報)

第2条 館報は、年報編及び紀要編から成る。  
2 年報編には、事業報告を掲載する。  
3 紀要編には、次の研究成果を掲載する。  
(1) 第6条に定める投稿原稿  
(2) 講演会等研究活動の内容報告  
(3) 寄稿原稿

(編集委員会)

第3条 館報の編集のために、編集委員会（以下「委員会」という。）を置く。委員会は次の構成員から成る。  
(1) 館長  
(2) 学芸員  
(3) 兼務研究員  
(4) その他、館長が必要と認めた者  
2 委員会委員長は、館長とする。  
3 委員会は委員長が招集し、議長となる。

(委員会の任務)

第4条 委員会は、館報に関する次の事項を行う。  
(1) 編集方針の決定  
(2) 掲載内容の決定  
(3) その他、館報に関すること

(投稿資格)

第5条 館報紀要編に研究成果を投稿できる者は、次の各号の者とする。  
(1) 館長  
(2) 学芸員  
(3) 兼務研究員  
(4) 客員研究員  
(5) 奨励研究員  
(6) その他、委員会が認めた者

(投稿原稿)

第6条 投稿原稿は、次の各号のものとする。  
(1) 論文  
(2) 研究報告

(3) 資料紹介

- 2 投稿原稿は、未発表かつ学術的な内容を有するものとする。
- 3 投稿原稿は、資料館所蔵作品に関係する内容を有するものとする。

(査読)

第7条 投稿原稿のうち、論文に関しては、編集委員が査読を行い、委員会が採否を決定する。  
2 採否の結果は、委員会から投稿者に連絡する。その際、原稿の修正等を要請することができる。  
3 委員会は、編集委員以外の適任者を臨時査読員として任命することができる。  
4 臨時査読員に対する査読料については、委員会の議を経て支払うことができる。

(著作権)

第8条 館報の投稿原稿において使用する画像等の著作権、所蔵者の許諾、引用する著作物に関する翻訳・翻案その他の権利処理については、全て投稿者が自身の責任において処理し、掲載許可、web公開許可を得ることとする。

(紀要編の公開)

第9条 紀要編に掲載された著作物は、原則として「実践女子大学学術機関リポジトリ」にてweb公開するものとする。なお、投稿時にweb公開に関して一部または全部の掲載を希望しないことを書面にて申し出た場合には、その限りではない。  
2 第8条で定めた著作権処理においてweb公開に関する許諾が得られなかった場合には、著者が委員会に事前に書面にて申し出ることとする。その場合に当該の図版は非表示とする。

(その他)

第10条 本要領に定めのない事態が生じた場合は、委員会が判断する。

(改廃)

第11条 この要領の改廃は、資料館運営会議の議を経て、実践女子大学研究推進機構会議が行う。

附 則

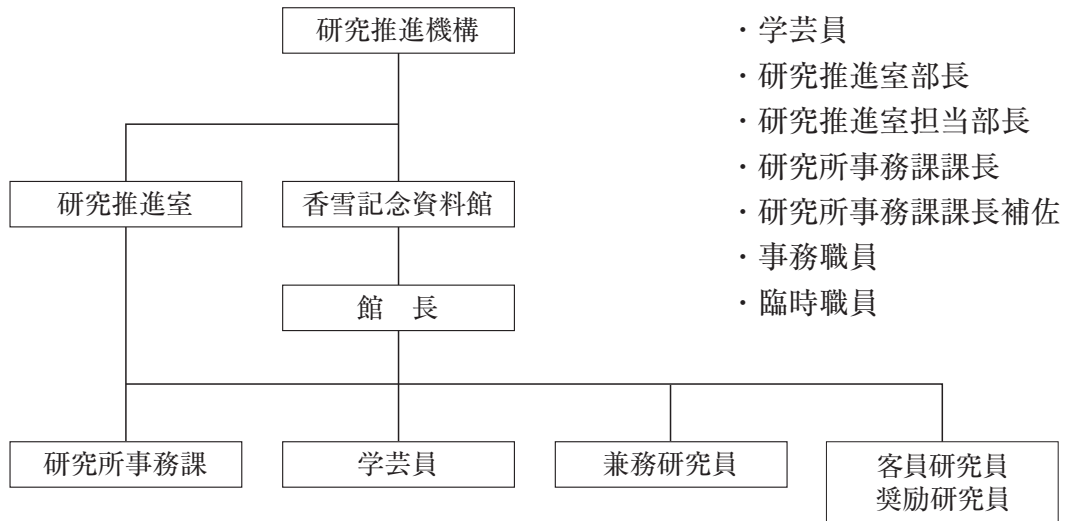
この要領は2021年11月24日から施行する。

附 則 (2023年6月27日改正)

この改正要領は、2023年6月27日から施行する。

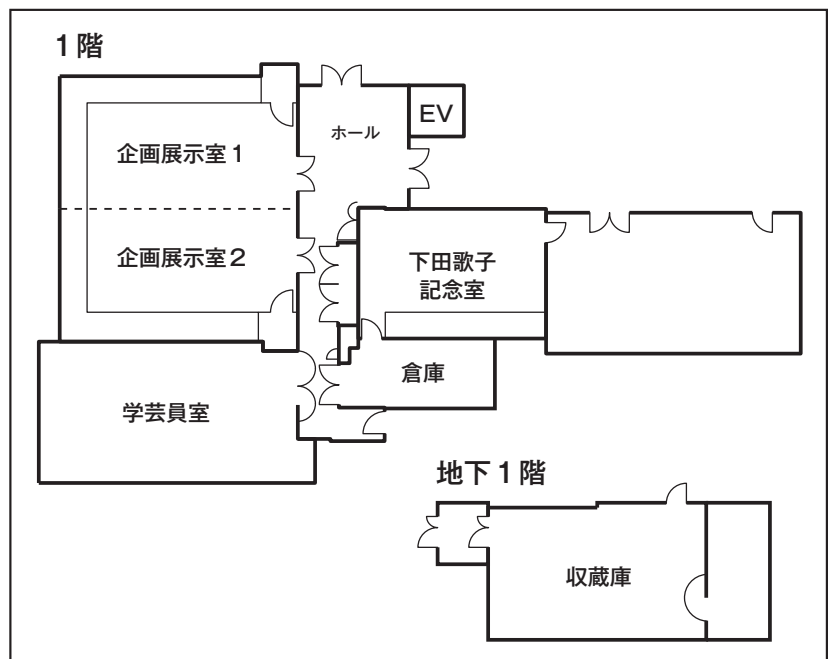
## 実践女子大学香雪記念資料館概要

### 組 織 図



### 施 設

延床面積	352m <sup>2</sup>
企画展示室 1	69m <sup>2</sup>
企画展示室 2	69m <sup>2</sup>
下田歌子記念室	52m <sup>2</sup>
学芸員室	80m <sup>2</sup>
収蔵庫	82m <sup>2</sup>



実践女子大学香雪記念資料館館報  
第22号（2024年度）

発 行 日     2025. 3. 5

編集・発行   実践女子大学香雪記念資料館  
〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

印            刷     日野台印刷株式会社